

一関市立黄海小学校 学校便り

きのみ

令和4年
12月9日(金)
NO.19

文責：佐々木



自分の命 自分で守る ～避難訓練で煙体験～

2日(金)、今年度3回目となる避難訓練を行いました。

業間休みの10時20分に地震からの火災を想定した訓練。登校時の気温が氷点下という寒い日でしたが、子どもたちは訓練放送が鳴ると遊びを“ピタッ”と止め、放送の指示をしっかりと聞き、行動に移すことができました。

この日は、一関南消防署藤沢分署から2名の消防士を講師として招き、火災時の煙体験も行いました。狭い教室で煙(訓練用)が充満する中、どのように移動すべきかを実際に体験。訓練後の子どもたちからは、

「目の前が真っ白で何も見えなかった。」(低学年)

「しゃがんで進まないで、煙でまわりが見えなかった。」(中学年)

「どこに進んだらよいのかわからなくなって、とても不安になった。」(高学年)

との感想が聞かれました。

また、消防の方からは、「実際の火災現場では、黒い煙で熱く、大人でもパニックになってしまいます。」と教わり、緊張と避難時の心構えをさらに高めました。

災害はいつ、どんな場所で起きるか分かりません。どのような状況な中でも、自分の命を守る力を身に付けることができるよう、これからも進めていきたいと思えます。



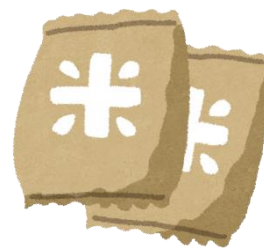
放送指示を聞いて、避難態勢・避難行動をとる子どもたち



訓練用の煙が充満している教室に入り、視界の悪さを感じ取る子どもたち



おいしくできました！



春から秋にかけて5年生が取り組んできた米作りでは、今年もたくさんのお米を収穫することができました。そのお米を地域の方々にも食してもらおうと、毎年3つの施設に寄贈しています。

この日は、隣接する「黄海こども園」に届けてきました。代表児童が「おいしくできました。ぜひみなさんで食べてください。」と一人一人のメッセージとともに園長先生に手渡しました。

多くの方々に支えられながら進めてきた地域学習。米作りを通して、黄海のよさをたくさん感じ取ることでできた学びとすることができました。



万が一のときに備えて — スクールバス対応訓練 —



先日一関市内の学校において、スクールバスに児童が取り残されてしまうという事案があったことはご承知のことと思います。

本校でもスクールバスを利用する子どもたちが多数いることから、この度利用児童を対象に、万が一バスに取り残された時の対応について訓練を実施しました。

当日はバスの運転手の方と一緒に、取り残された時には「窓を開けて防犯ブザーを外に向けて鳴らす」ことを確認しながら、一人一人実際に試してみました。また、「クラクションの鳴らし方」も体験しました。（本校のバスは、エンジンが切れていてもクラクションは鳴ります。）

子どもたちの命を預かる身（職）として、子どもたちの安全は何事にも代えがたいもの。

これからも登校時の所在確認やバス運行会社（運転手）との連携強化を図りながら、子どもたちの安全を最優先に努めてまいります。

